

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年3月9日

公表: 令和 4年 3月

事業所名 ジーニアスKIDS箒山校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	4	狭いと思う事もある分、外へのおでかけを増やしていく	活動内容を踏まえて場所を移動する等して、適したスペースを確保出来るよう努める
	2	職員の配置数は適切である	5	0	人員不足の場合は、他事業所よりヘルプ対応を行っている	安全で適切に行えるよう、職員の配置も増加していけるよう努める
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3		玩具の片づけ場所等は行っているが、もう少し専門的に視覚で行動を促す事も出来るようにしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	コロナ禍である為、感染拡大の予防をスタッフ間で話し合いを行っている	コロナ禍の最中だが、感染予防の為、室内空間をきちんと清掃していくことが出来るようにしていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	スタッフ全員で確認し、改善点、次年度へ向けての支援方法を考え実践していく話し合いを行っている	日々の反省点をきちんとスタッフ間で共通に認識していく必要がある
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	毎年確認させて頂き、改善可能な箇所に関しては早急に対応できるようにスタッフで話合える場を設けてます	評価表は必ず行っているが、評価表は支援の意向野一部に過ぎない為、送迎時等にきちんと話を行う様にしていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		毎年行っている
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		外部評価は行えていない状況です
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	スタッフ各自で研修に行く事ができる機会を設けていく	研修は行っているが資質の向上につながっているかはわからない
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		一人一人丁寧にを行うよう心掛けていきます
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		幼児に合わせてのアセスメントを作成してその中で必要な項目を取り入れてアセスメントを行っている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		適切な内容に設定して作成している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		都度全スタッフへ情報共有を行うように心がけていく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	1年周期で、活動計画をして立案している	スタッフ間で年齢や個々に合わせた内容の活動を都度考え改善も行うようにしている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	スタッフ全員で案を出し合い、カレンダーを作成している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	本児の達成できそうな内容で計画を立てるようにしています	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	みんなで共有できるようにメッセージを送り合っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0		利用者の記録や、支援でこのようにした方がいい等の話し合いを行っている
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0			

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		半年に1度行っている
----	---------------------------------------	---	---	--	------------

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		もっと関係機関と連携を行っていく事ができるようにしていきたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		移行支援としては情報共有がまだ足りないと思う
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		出来ていないことが多い
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		月に1回・2か月に1回集まり合同研修等を行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4		児童部会には参加しているが、協議会には参加できていない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時になるべく話すことができるようには工夫している	左記の中で工夫するようにしているが、親御さんときちんと話を行う事が出来るように日々学ぶようにしていく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1		助言は行えるようにしているが、ペアレント・トレーニングとなるとやはり難しいところもあり勉強不足と感じる
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		契約時に一緒に目を通して頂いています
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		確認を得てサイン等頂いている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		聞いている「つもり」にならないようにしていきたい
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		前年度までは年1で開催していたが、今年はコロナ禍という事もあり出来ていない
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		すぐに行う事が出来るような環境作りや、スタッフ一人一人の自覚を持つことが出来るようお互い声掛けを行っていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		2ヶ月に1度利用者様の様子を載せている広報誌を配布している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		鍵付きの書庫に入れている
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		情報伝達時の配慮は出来る限り気をつけている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		今後行っていけるよう計画を立てる。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		スタッフ間の把握は出来ているが、親御さんへ向けて、見て頂いても分かりやすく周知は行っていない
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		月に一度行っている 年に数回消防の方を呼んで子ども達へ訓練を行って頂いている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	2		完璧には出来ていない為、予防接種等の状況把握が出来るよう用紙を作成する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		親御さんからアレルギーの対応に対する指示を頂いている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		ヒヤリハットを小さい事から最低1枚以上は毎日記入している為、今後も継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		今後定期的に開催できるようにしていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		組織的に確立されているものがないが、虐待防止委員会で研修や、会社内で決定できるように急いでいる

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。